

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	松宮 幹雄	法人・事業所の特徴	郊外の田園に立地しているため、自然豊かであり、季節感を感じることができます。当法人の福祉理念「あなたらしさいつまでも」を念頭に利用者の過去の生活歴や嗜好などのアセスメントを活かした活動提供、及び、自立支援に力を入れています。また、2023 年より BLG にも取り組んでいます。 併設の認知症対応デイサービスとグループホーム合同で、外出行事・趣味の会活動を通して交流しており、ニーズに合わせて、「デイサービス→小規模多機能→グループホーム」と移行がしやすい環境です。また、地域とのつながりにおいては、畑作業と一緒にいき、地域行事、奉仕活動に参加し、地域住民が気軽に声を掛けていただけるよう、馴染みの関係作りを目指しています。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 岡保きらめきハウス	管理者	小山 祐司		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3 人	人	1 人	1 人	人	3 人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	・以前の暮らし方の情報収集を担当職員が中心となり情報収集に取り組む。アセスメントを深掘りして利用者や家族の思いに沿ったケアをする。 ・「家族の会」を計画実行し、意見や苦情が言いやすくなるような信頼関係を作っていく。	・ケアマネジャー、担当職員がご本人や家族より情報収集を行い、利用者や家族の思いに沿ったケアができた。また「家族の会」を開催し、家族同士のつながりがもてた。	・職員は利用者・家族に寄り添ったケアをしており、身体機能の回復、自己実現ができた事例が多く良いケアをしている。	・利用者、家族に寄り添い信頼関係を築き、ニーズの把握を行う。職員間で情報を共有し、統一したケアを提供していく。 ・「家族の会」を開催し、家族同士が悩みや困りごとを話せるよう関係性を作る。
B. 事業所のしつらえ・環境	・利用者自身で出来るように環境を整え自立支援を行う。また、利用者の居心地の良い場所になるよう安心、安全な環境を作る。	・自立できるように環境を整えたことで、自分で好きな時にコーヒーを作り、他利用者にもコーヒーを作ってあげる行動がうまれ、やりがいに繋がった事例があった。	・在宅生活を維持継続していくための自立支援を促す工夫がされている。 ・事業所全体は明るく居心地の良い空間が作られている。	・利用者の自立を促す環境作りを行う。また、安心して過ごせるよう 6S を実施していく。

C. 事業所と地域のかかわり	・お祭り・畑活動・デイホーム等を通して積極的に地域と交流し顔馴染みの関係性を作る。地域住民の声を聞き、事業所の活動に反映する。	・地域の方の協力を得て「きらめき祭」を5年ぶりに開催し好評であった。そのほかに、地域の秋祭りや奉仕活動に職員、利用者が参加し、地域との交流・関係性作りができた。	・地域住民が参加できる企画があり利用者と地域の方が交流する機会になって良かった。 ・職員が奉仕活動などの地区行事に積極的に参加していてよい。 ・一緒に活動している利用者の名前が分かるとよいのではないかな。	・地域の困りごと等を把握できるように、畑活動・奉仕活動・お祭り等を通して顔馴染みになり、地域との関係性をより深める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	・利用者の在宅生活を支えるため、包括・民生委員・医療機関と連携を図り情報を共有し、柔軟なサービスを提供していく。 ・地域ぐるみで利用者を支えていけるような関係性作りをしていく。	・利用者の心身の状態に合わせた柔軟なサービスを提案し、本人、家族との信頼関係を構築できた。包括・民生委員と情報を共有し連携した関わりができた。	・利用者が生活しているすべての地域の住民や民生委員に積極的に声掛けし、信頼関係を築く必要がある。	・地域資源を活用し、在宅生活が継続できるように本人と地域との橋渡し役をつとめる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議での関係者からの意見を職員間で共有し、事業所の活動に活かす。	・日頃の活動や地域との関わり、事業所の運営について多くの助言を頂く。特に畑活動、祭りの運営について密に情報交換し実施したことで、地域の方にも喜ばれる活動に繋がった。	・運営推進会議では活発な意見が出ており、活動に反映していると思う。	・運営推進会議で関係者からの意見を取りいれ迅速に改善対応し、より良い事業所を目指す。
F. 事業所の防災・災害対策	・地域の防災訓練に参加し、福祉避難所としての機能を果たし地域全体の防災対策を実施していく。	・今年度は天候の関係で地区の防災訓練が中止だったが、事業所の防災訓練では、利用者と職員が避難手順を一緒に考え実施した。	・地域の訓練に参加する事で地域の避難方法や予想される事業所の役割を確認する必要がある。	・地域の防災訓練に参加し、福祉避難所としての機能を果たし地域全体の防災対策を実施していく。